

第4章 重点施策の展開 ～水・緑 輝きプロジェクト～

計画テーマである『水と緑が輝く 潤いのあるまち 府中』を実現するため、第5章に定める施策のうち、優先的に実施する施策や、広く市民や事業者の参加を促し、全市的な取組へと発展させるための先導的な施策を抽出し、次の8つの「水・緑 輝きプロジェクト」を重点施策として展開します。

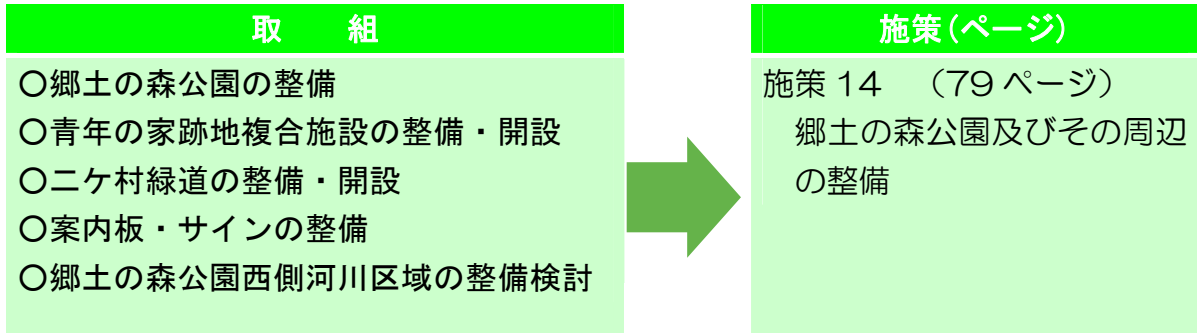
－「水・緑 輝きプロジェクト」の構成－

- 1 郷土の森公園及びその周辺整備プロジェクト
- 2 府中基地跡地留保地内の公園整備プロジェクト
- 3 府中崖線保全プロジェクト
- 4 ケヤキ並木保全プロジェクト
- 5 緑の街並みづくりプロジェクト
- 6 生き物の生息空間の保全プロジェクト
- 7 協働による緑ゆたかなまちづくり推進プロジェクト
- 8 公園等の安全・安心推進プロジェクト

1 郷土の森公園及びその周辺整備プロジェクト

郷土の森公園及びその周辺は、多摩川に隣接し、緑ゆたかな公園を中心に緑道や遊歩道、水路などが集結する、水と緑のネットワークの要の位置にあり、市内外の多くの人に親しまれています。

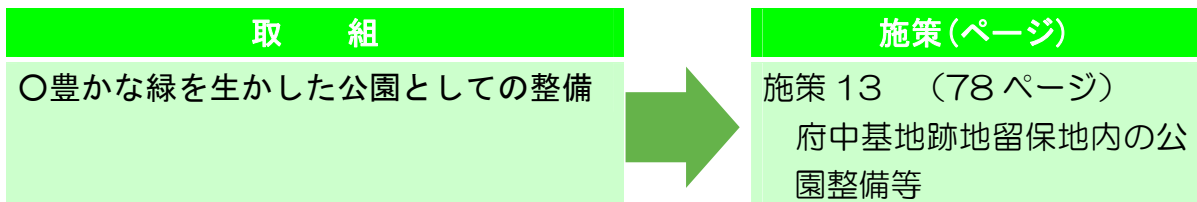
本市の「緑の中核的な拠点」のひとつとして、さらに魅力を高めるため、拡充整備に取り組みます。



2 府中基地跡地留保地内の公園整備プロジェクト

府中基地跡地留保地は、良好な都市環境の整備や市民の生活環境の向上などを目的に、有効利用を図ることとなっています。

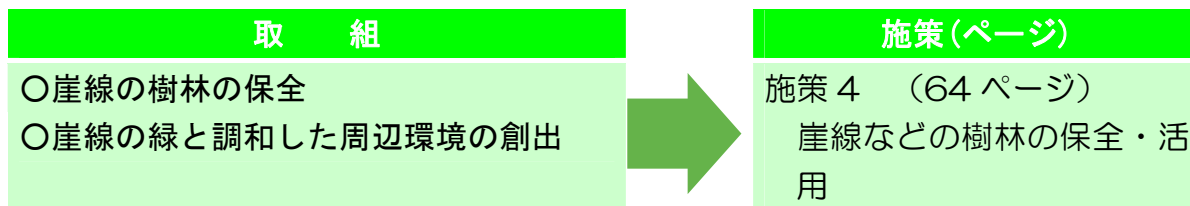
留保地内に残る豊かな緑を生かしながら、隣接する都立府中の森公園などと一体的に計画することで「緑の中核的な拠点」としての機能を高めるため、公園整備に取り組みます。



3 府中崖線保全プロジェクト

府中崖線は、本市を代表する特徴的な緑のひとつであり、緑ゆたかな景観を形成しています。しかしながら、都市化の進展に伴う緑の減少が進んでいることから、その保全は重要な課題となっています。

このため、崖線の緑を保全するとともに、これらと調和した周辺環境の創出に取り組めます。



4 ケヤキ並木保全プロジェクト

馬場大門のケヤキ並木は、本市のシンボルであるとともに、本市の歴史・文化を現代に伝える資産となっています。しかし、ケヤキの生育環境が悪化しており、その保全は緊急性を有しています。

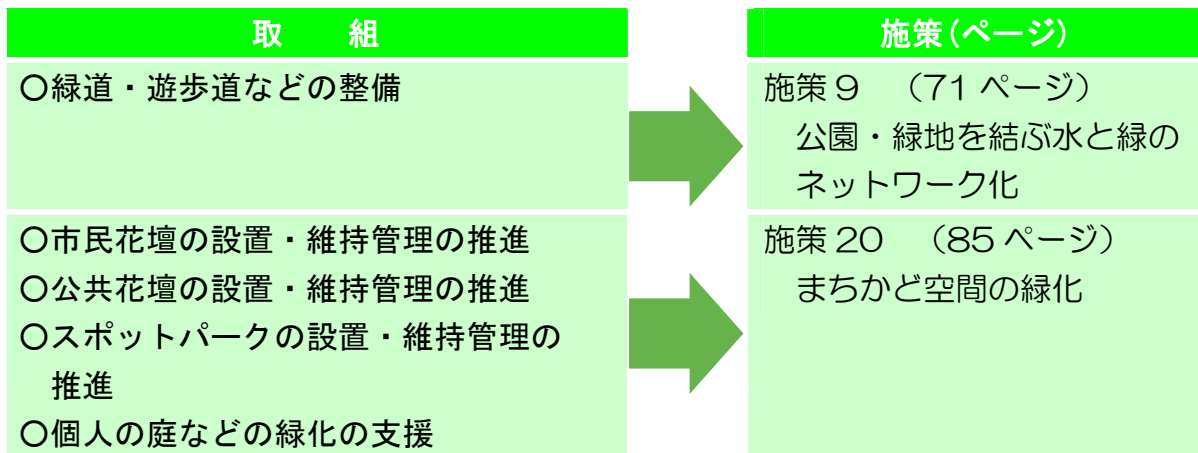
緑ゆたかなまちのイメージを表す大切な資産を次代に引き継ぎ、さらにその魅力を高めていくため、ケヤキ並木の保全に取り組めます。



5 緑の街並みづくりプロジェクト

公園・緑地の量的な充足が進み、「緑の豊かさ」や「公園・遊び場」に対する市民の評価も高くなっています。これら市内に点在する公園・緑地の持つ様々な機能を効果的に活用するためには、緑道や遊歩道などにより公園・緑地を相互に結びつけ、水と緑のネットワークへと展開させていくことが重要となります。

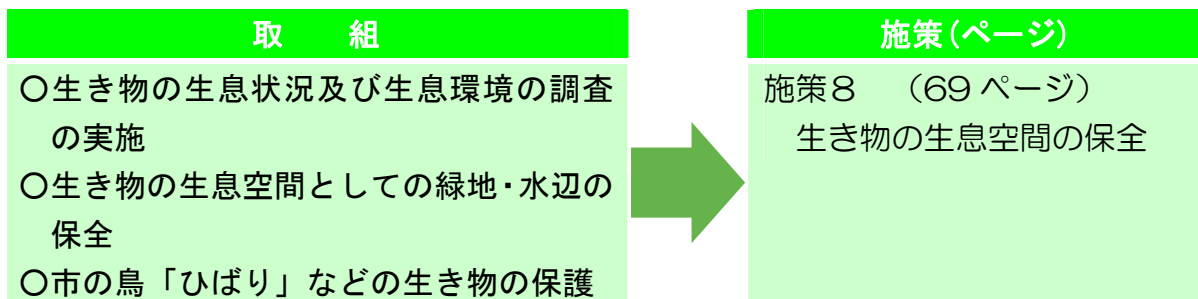
緑ゆたかな街並みによって、水と緑のネットワークを形成するため、緑道や遊歩道などの公共空間の整備と沿道民有地における緑化に取り組みます。



6 生き物の生息空間の保全プロジェクト

緑は都市の魅力を高め、良好な生活環境を形成するだけでなく、多様な生き物の生息空間としても重要な役割を持っています。

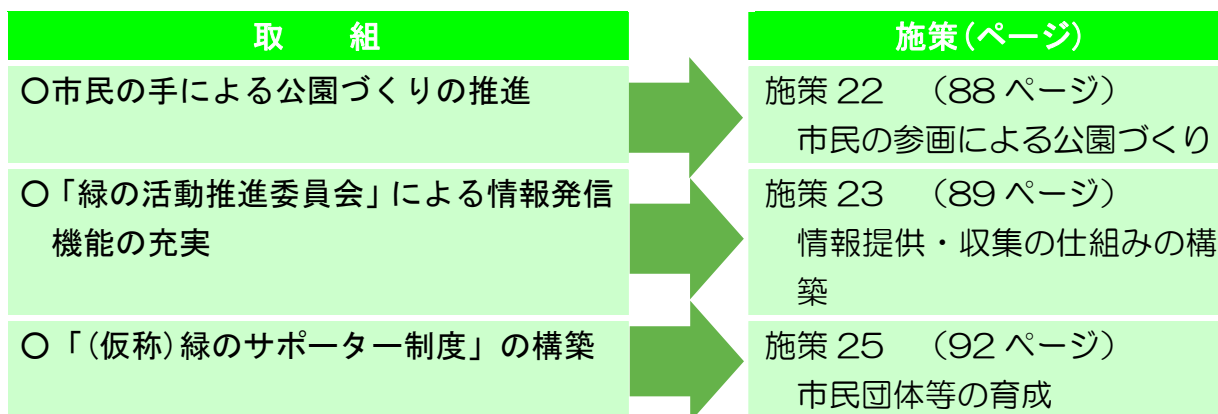
しかし、都市化の進展に伴い、生き物の生息空間の縮小が進んでいることから、多様な生物が生息・生育することができる緑の空間づくりに取り組みます。



7 協働による緑ゆたかなまちづくり推進プロジェクト

本市の大部分は民有地が占めており、公共空間の緑化だけでなく、市民や事業者との協働により、民有地の緑化を進めることが重要です。

緑ゆたかなまちづくりを進めるため、市民・事業者・行政が「協働」する仕組みづくりに取り組みます。



8 公園等の安全・安心推進プロジェクト

本市の公園等には、開設から相当の時間を経過したものがあり、施設の劣化や樹木の成長など様々な問題が生じるとともに、防犯・防災性の向上などが求められています。

こうした課題に対応しながら、維持管理や再整備を行い、安全・安心な空間づくりに取り組みます。

